

実施していただきたい情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策が不十分な機器を利用することは、ウイルス感染等により、情報漏洩やサイバー攻撃への加担等、様々なリスクが発生することになります。このため、各自が利用する機器について、以下の情報セキュリティ対策を必ず実施するようにお願いいたします。

1. パソコン、タブレット・スマートフォン等について

(1) OS (基本ソフト) について

- ・サポートが終了したバージョンは使用しないでください。

Microsoft ではライフサイクルポリシーが決められており、サポート終了した Windows OS、Office ソフトは脆弱性に対する対応がなされず、外部からの悪意ある攻撃に無防備になり危険な状態になります。

Apple・Google が提供する OS もセキュリティアップデートが提供される期限が概ね決まっております（ただし Android は機器のメーカーが配信の役目を負うため、同時期発売でも期限が異なる場合があります）。最新 OS にアップグレードできず、かつセキュリティアップデートが提供されない状態になった機器は寿命と考え、更新することを強くお勧めします。

(2) セキュリティ対策ソフトについて

- ・セキュリティ対策ソフトをインストール（有効に）し、定義ファイルを常に最新に保ってください。
- ・パソコン購入時の試用版セキュリティ対策ソフトは一定期間で試用期限切れになり、購入案内に切り替わるものがあります。定義が期限切れのまま放置することは、セキュリティ対策が実施されていない状態になるため決してしないでください。
- ・Windows8.1以降はセキュリティ対策機能が OS に標準搭載されております。試用版のライセンスを購入しない場合は、アンインストールしてから Windows Defender を有効にしてください。
- ・Apple が提供する OS (Mac OS、iOS 等) にセキュリティ対策ソフトはインストールされていません。安全を期するには導入することを検討してください。
- ・Google が提供する OS (Chrome OS・Android) は、Google Play Store 等からセキュリティソフトを入手可能です。安全を期するには導入することを検討してください。

2. Wi-Fi ルーターを利用される場合

- ・購入又はリセット後の設定時に、本体ログイン用のパスワードを必ず変更してください。初期状態のままの場合、古い機器では外部から容易に不正侵入できる状態になります。
- ・SSID のパスワード（共有キー）は、その Wi-Fi ルーターの接続を許可する特定のユーザーのみで共有するようにしてください。また、接続するパソコン等のセキュリティ対策を徹底してください。詳しくは前項「1.パソコン、タブレット・スマートフォン等について」を参照してください。
- ・機器を制御するソフト（ファームウェア）を常に最新にしてください。詳細はメーカーホームページから型番検索で確認することができます。
- ・ワイヤレスセキュリティ方式 WPA2 (AES) に対応していない古いパソコン等を接続しないようにしてください。
- ・古い Wi-Fi ルーターでは、搭載しているワイヤレスセキュリティ方式が WPA2 (AES) に対応しておらず安全性に問題がある方式の可能性があります。最新の情報を確認の上、必要に応じて Wi-Fi ルーターの更新を検討してください。

以上